

令和7年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(学校推薦型選抜Ⅱ)

総合問題

(農学部 共同獣医学科)

出題の意図

出題の意図

問題 1.

題材は、2005 年に出版された『ヒューマンバイオロジー (Sylvia S. Mader 著、坂井建雄 他訳)』という図書からの抜粋、一部改変したものである。抜粋した箇所は平易な文章であり、食物に含まれる栄養素やカロリー、疾病との関連性について基本的な事柄が書かれており、高等学校で共通に学ぶ基礎的知識があれば十分に理解できる内容である。設問は、基礎的知識とともに、文章読解力、論理的思考力、洞察力、表現力などを判断することを目的とし、与えられた時間内に解答できる分量である。なお、採用した問題文中の単語に特殊な専門用語はなく、共同獣医学科への入学を希望する学生ならば十分に理解できるレベルであり、獣医師を志す受験生として備えるべき力を有しているかについて総合的に評価する意図をもって出題した。

問 1. 獣医師を志す受験生として持っていてほしい基礎的知識と漢字力を問う。

問 2. 基礎的知識と文章読解力を問う。

問 3. 化学の基礎的知識を問う。

問 4. 文章読解力に加えて、論理的思考力と表現力を問う。

問 5. 文章読解力に加えて、論理的思考力と洞察力を問う。

問 6. 文章読解力に加えて、論理的思考力と表現力を問う。

問 7. 文章読解力に加えて、英語能力と論理的思考力を問う。

問題 2.

出典は『The Reykjavik Conference on Responsible Fisheries in the Marine Ecosystem 3』において発表された調査捕鯨に関する研究の抄録文（英文）である。我が国が実施した調査内容からクジラ類哺乳類が捕食する海洋生物の種類について発表されている。ヒトの利用する漁業資源と捕食者であるクジラ類とのあり方を「食物連鎖」をキーワードとして考えさせ、獣医師が考えていかなければならない「食の安定供給」への課題に関する受験者の考えを論理的に述べる力を考査する。

- 問 1. 本調査の目的に当たる部分を具体的に読み取れているかを考査する。
- 問 2. 本出題文の背景にあるキーワードが捉えられていることを考査する。
- 問 3. 本出題文の端的要約であるタイトルを、適切な言葉を用いて見出す読解力を考査する。
- 問 4. 問題文から著者が示した調査結果を踏まえて、受験者個人の考えをまとめた分量の文章で論理的に表現する力を考査する。